



留学生と語り合う No. 60

RKK ニュース (2015年夏号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

第 6 回 RKK 通常総会開催

本年 5 月 6 日 (水)、かながわ県民センターにおいて、通常総会が開催されました。新年度の事業計画では、RKK 活動の基本である三つの絆 (留学生と会員の絆、会員同士の絆、留学生同士の絆) の強化に努め、RKK の特徴である 1:1 の交流をベースとした多彩なプログラムを推進していくことが承認されました。

- 1) 会員・留学生のリクルート
 - ・前年度の日本人会員および登録留学生人数の上積みを目指します。
 - ・種々の機会を捉えて、会員それぞれが大学への RKK の PR に努めます。
- 2) 留学生ニーズへの対応
 - ・「就活情報支援委員会」を発足します。
 - ・本委員会では就活相談を受けた会員に情報提供などを行う活動に取り組みます。
- 3) 文化交流活動の推進
 - ・従来の「ファミリー交流グループ」を文化交流活動の更なる推進のため、「文化・ファミリー交流グループ」と名称を変更します。
- 4) RKK フェスティバルの開催
 - ・日本語スピーチ大会および RKK 文化祭を同日、同一会場で開催し、「RKK フェスティバル」として盛り上げを図ります。



会員募集中

RKK の活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。入会申込書はホームページ「入会案内」からダウンロードできます。詳しくは、Home Page(Web Site) [RKK NPO](#) で検索をお願いします。

The 6th Annual General Meeting Report

The Annual General Meeting was held at Kanagawa Kenmin Center on Wednesday, May 6, 2015, and the activity plans for this year was approved. Under the plans, we will try to strengthen RKK's fundamental three bonds; among members, between members and international students, and among international students. We will also promote the following programs based on the one-to-one relationship which is characteristic of RKK.

- 1) Recruiting members and international students
 - ・ We aim to increase the number of members and students more than the previous year.
 - ・ Each member tries to take every opportunity to promote RKK to universities.
- 2) Meeting needs of students
 - ・ We will establish the committee for supporting job-hunting information.
 - ・ The committee provides information to members who are consulted about job hunting.
- 3) Promoting the cultural exchange activities
 - ・ To further promote the cultural exchange activities, the Family Exchanges Group will be renamed the Culture and Family Exchanges Group.
- 4) Holding the RKK Festival
 - ・ The Japanese speech contest and RKK cultural festival will be held at the same place on the same day as the RKK Festival to make more excited.

(Translated by Azusa Sugita)

お知らせ

第 20 回日本語の教え方講習会

実施日: 2015 年 10 月~12 月 (全 5 回)
会場: かながわ県民センター
講師: 河島ゆりか先生
受講料: 5,000 円 (会員 4,500 円)

RKK フェスティバル (RKK Festival)

日時: 11 月 23 日 (休日) 9:30~16:30
場所: 県民センター 301 号室
午前の部: 日本語スピーチ大会
午後の部: 文化祭

RKK 講演会と懇話会より

ちゅうごくじゅうしんりゅうがくせい さいしんじじょう がくゆうかい きたい
中国人留学生の最新事情と学生会からRKKへの期待

5月6日(水)RKKの総会終了後、「留学生事情とRKKへの期待」というテーマでRKK主催の講演会と懇話会が開催されました。会場は総会と同様、R301号室。講演者は「横浜地区中国留学生学生会」の副会長、喬毅さんと、同学友会幹事の嚴玉傑さん。学生会には、横国大、神奈川大、横浜商大、関東学院の中国人留学生約300名が所属しています。講演概要は以下の通りです。



あいわ もと
会話を求めている。

- (1) 中国人留学生が抱える言葉の壁と文化の違い
留学生の日本語能力差は大きく、悩みも多様。たとえば横国大には約500人の中国人大学院生が在籍するが、他言語で入学できるため日本語能力が低い留学生も多く、学業や生活習慣(交通規則やゴミ出しなど)で問題を抱えている。日本語が中級クラスの課題は表現能力で、ニュアンスを伝えることが難しく、学業やpart-time job 面談で苦労している。日本語上級者では、学術用語の理解やビジネスマナーが課題で、専門知識をもった日本人との

(2) 学生会が展開する学習支援事業の課題

横浜市には約3万人の中国人が居住しているが、彼らの子弟(中学生)の中には言葉の壁から授業についていけず、退学するケースもある。学生会は学生ボランティアを派遣して子供たちに中国語で学習支援を行っているが、学生には荷が重すぎる問題(学習意欲の高め方など)があり、ボランティア学生を確保するのが難しい。ボランティア学生自身を何らかの形でサポートする体制が必要になっている。

(3) 学生会がRKKに期待すること

当面の期待として、日本語能力が不十分な留学生のために、生活体験(ホームステイなど)や文化体験(餃子交流会など)を通じて、日本語を学び、日本文化にも触れる機会を作れないか。また将来的には、学習支援を行うボランティア学生の相談を受ける態勢づくりをRKKにお願いし、「RKKのサポートがあるから安心」をアピールして、学習支援ボランティアの魅力を高めたい。

講演終了後のQ&Aでは、「中国人留学生の来日目的」や「日本での就職活動」について質疑が行われ、喬さんより「来日目的は留学生毎に異なるが、日本で就職するのは一部。学生会では300人のうち50人は日本で就職するが、250人は帰国する」「就職活動には企業分析と自己分析が必要だが、RKKには自己分析を手伝ってほしい」との回答がありました。6つのテーブルに分かれたグループディスカッションでは、主に2つの問題が議論され、学習支援活動については教職経験のある会員より支援に前向きな発言があり、就職支援に関しては各チューターノウハウをRKKとして蓄積できないかなどの意見が聞かれました。(服部 周 記)





留学生歓迎スプリングパーティ

at 横浜国立大学

横浜国立大学主催の留学生歓迎の為にスプリングパーティが5月15日、
弘明寺留学生会館で開催されました。



私ども RKK より深水理事長、古谷さんと私の3人が出席いたしました。

多くの留学生が参加しておりました。

最初に地元ライオンズクラブの皆さんが紹介され、引き続いて私ども

も紹介されました。出席者の内には RKK 会員の留学生も含まれていて私

どもを見て挨拶に来てくれまして、久しぶりの学生もいて元気そうで懐

かしく話が盛り上がりました。(南区 布津 記)

留学生からのたより

「シェアハウスの生活体験」

潘 岳(中国)横浜国立大学大学院



シェアハウス「ウェル洋光台」の外観図

「ウェル洋光台」では今24名の日本人とドイツ人、オーストラリア人、アメリカ人とアメリカ人各一名ずつ一緒に暮らして来た。多国籍の手づくり料理を食べることができ、休日前の夜はラウンジで皆と深夜まで語り合ったり、笑ったりする。ハロウィーンには一緒にかぼちゃのランタンを作ったり、新年には一緒にもちつきしたりすることで、シェアハウス生活を楽しんできた。三階建てで24の個室、共用部分はラウンジ、キッチン、トイレとシャワー室。生活用品は揃っていて、礼金と敷金がいらないう点で、留学生にとっても住みやすいと思う。日本

私は就活のため、半年間休学中で「ウェル洋光台」というシェアハウスで生活してきた。日本人と一緒に暮らすことは普通の留学生活にはとても体験できない経験だと思う。近距離で日本人の日常生活を観察でき、話し合いによってお互いの生活のうえの慣習、価値観などについてより深く理解することが出来た。



ラウンジ



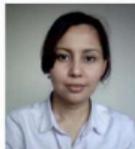
結婚祝いに集まった人たち

語を練習するチャンスが出来るのはもちろん、日本人と一緒に暮らしているうちに、日本人と言ってもみんな寿司が好きとは限らない、真面目な人ばかりではない、と言うことを理解できるようになった。国籍だけで人を判断することではなく、人の個性を尊重し、多様な価値観を認めながら付き合うことが大切だと感じた。これは当たり前だと思われるかもしれないが、私は実際に日本人と一緒に暮らしてから初めてこの姿勢が大変だと思った。このユニークな経験は今後の留学生活や就職活動に役に立つと信じている。

(原文のまま)

にほんがだいすき 日本が大好き

Noza Bakhromova (Uzbekistan) 東京学芸大学



わたしはウズベキスタンから来たシャフノーザと申します。2009年夫が日本の大学に勉強しに来たとき、私も一緒に初めて日本に来ました。でも、そのとき日本語が全然分からなくて生活が大変でした。その間、RKKが橋山先生を紹介してくれ、先生に日本語を習い始めました。言葉が通じるようになるまで、よく市役所から頂いた書類を通訳してくれたり、いつもアドバイスしてくれたり、色々な所へ一緒に行ってくれたりして、とても助かりました。いつも日本人の優しさを感じて、私も日本語を頑張りました。日本語がちょっと分かるようになって、よくRKKの色々な見学に参加し始めました。毎日がいい勉強になり、日本人の生活、文化、性格をちょっとずつ習いながら生活し、自分の生活が楽しくなりました。そんなとき、夫が大学を卒業して一緒に国へ帰りました。国へ帰っても、日本人の優しさや丁寧さが全然忘れられなくて、いつも「また日本に行つて色々やりたいなあ」との気持ちでした。そこでよく考えて、今度私が日本で勉強することにし、帰国して2年後、私が日本へ勉強しに来ました。日本の大学（東京学芸大学教員研修プログラム）で勉強していることは、私の大きな夢が叶えられたことです。それは日本人のお陰で叶えられたのです。今、日本語が出来るのでよく友達が出来、楽しい生活をしています。いつも心から日本語の先生達、RKKの方々、こんなに優しい日本人に心から感謝しています。（原文のまま）

留学生の皆さんへ／For International Students

RKK は下記の日本語指導（Japanese Language Tutoring）を行っています。

ボランティアの日本語個人指導を受けてみませんか！

- ・ 日常会話（Daily Conversation）
- ・ ビジネス会話（Business Conversation）
- ・ 卒論、レポートの文書指導（Writing Japanese Thesis & Report）
- ・ 新聞／書籍等の読解（Reading Newspaper & Books）
- ・ その他に、工場見学／社会体験
- ・ 留学生との交流イベント等を開催しています。



詳しくは、Home Page(Web site) [RKK NPO] [検索](#) を参照してください。

連絡先 (Contact) 津田 (tsuda) e-mail: sakura_tudakei@ybb.ne.jp

参加者が広がるRKKのクラシック鑑賞会

～ハーモニーが留学生とチューター間のきずなを深化～

中央地区 服部周平

鈴木次男さん（中国語学習G。本年度から文化・ファミリー交流Gを兼任）が呼びかけ人となって実施される

RKKのクラシック鑑賞会。知らぬ間に出来ちゃった子供みtainイベントと冗談を飛ばされながらも、熱心な音楽愛好家に支えられ、毎回参加者が10人を下回ることはありません。

あんない concert けんりつおんがくどう ひら にせうじょうりやう ゑん amateur orch えんそう ちせうしん
案内されるコンサートは、県立音楽堂などで開かれる。入場料 1000 円のアマチュア・オーケストラの演奏が中心。だ



から、ホルンが音を外したり、ティンパニーが一拍出遅れたり、弦楽器群が濁った音を出すことは珍しくありません（オット失言！）が、心の広い RKK の聴衆は小さなことに目くじらを立てません。オケの調子がすこぶるよいと、情感あふれるメロディーや心地よい和音がホール内に響き渡る瞬間があり、その一瞬に巡り合うだけで「音楽ってやっぱりいいなあ〜！」と感動し、満足してしま

うのです。

こんしゆんひら
今春開かれた名曲コンサートを例に挙げると、演目はドヴォルザークのチェロ協奏曲（通称ドボコン）とチャイコフスキーの交響曲 5 番。いずれも人気曲のため、会場はかなり満員状態。

RKK からは留学生やチューターなど 11 名が参加。クラシックは初心者という中国人留学生たち、モーツァルトやドヴォルザークが大好きな女性チューター、三度の飯よりクラシックが好きな音楽狂や世界のオペラを聴き巡った男性チューターなど 11 名の音楽歴は千差万別ですが、初心者からベテランまで全員が名曲を堪能しました。誰でも包み込む「懐」の深さがクラシック音楽の魅力です。

コンサート終了後、反省会と称する居酒屋での飲み会は音楽談義で盛り上がり、やがて話題は国際交流の楽しさに。「人生のほとんどの喜びは（西洋）音楽から得ている」と言ったのはかのアインシュタインですが、喜びだけでなく、国際交流を深める上でも西洋音楽が大きな効果を発揮することを改めて実感した一日でした。



おもな活動(2015/5 から 2015/7 まで)

通常総会・理事会・懇話会

◇5/6 サポートセンターにて、午前は理事会、午後は第 6 回通常総会が開かれ、2015 年度の事業計画などが承認された。引き続き開催された「講演&懇話会」には「留学生事情と RKK への期待」をテーマとして、総勢 35 人の参加のもと、情報の交換と共有化が行われた。

スタッフミーティング

◇6/28 午後、サポートセンター-R302 にて 25 人のスタッフの参加のもと、2015 年度第 1 回スタッフミーティングが行われ、本年度のスタッフ体制、役員体制および日本語指導マッチング体制を確認した。その後恒例の活動グループ、地区交流会、委員会それぞれから、本年度年間計画を主体に C&C（報告・連絡そして相談）が実施された。

活動グループ

- ◇日本語指導 G：スタッフ 8 人体制となり、講習会、スピーチ大会など年間イベントを企画中。
- ◇文化・ファミリー交流 G：文化交流を展開。7/4 の湘南ひらつか七夕まつりには 37 人が参加。
- ◇中国語学習 G：6 月から新たな期に入り、11 人のメンバーが受講。
- ◇社会・工場見学 G：8/4 の富士通・ショーエイ見学を企画中。

地区交流会

- ◇東地区：東工大学生寮にてリクルート展開。7/12に地区交流会を実施。
- ◇西地区：4/19の交流会に続き、次回は8/2に予定。
- ◇南地区：5/15 横国大留学生会館でのスプリングパーティに参加。6/7に地区交流会を実施。
- ◇北地区：7/18に11人の参加のもと地区交流会を実施。
- ◇中央地区：7/12に地区交流会を実施。11人参加。
- ◇湘南地区：湘南台の多摩大学にて留学生リクルートを実施。次回交流会は9/8に予定。

委員会

- ◇会員委員会：6/28 マッチング検討会を実施。日本語指導マッチング体制の確認および説明文の更新。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 60号の編集。ホームページは適時更新。
- ◇就活情報支援委員会：本年度から発足。6/30に委員会を開催し運営骨子を確認。
- ◇企画委員会：夢ファンド、寄附、賛助会員入会の推進。助成事業の企画。
- ◇会計委員会：収支決算・事業計画予算作成。
- ◇事務局：事業計画・議案書作成・総会開催。NPO 事業報告書の作成と提出。

よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。

このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします。

税制上の優遇措置など詳細は「よこはま夢ファンド」で検索して当該のホームページをご覧ください。（企画委員会）



RKK ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しており、「会員のひろば」も開設致しました。

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。

掲載希望の会員はメッセージをRKK 広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページ <http://homepage3.nifty.com/rkk/>

広報委員会では皆様からの広場への寄稿をお待ちしております。

広報委員会



就活情報支援委員会が発足しました

就活情報支援委員会スタッフ 岩瀬暢男

留学生との語り合いの中で、就職活動に関する話題が次第に多くなってきています。この傾向は数年前より意識されるようになり、事業計画として連年取り上げられてきました。今年は就活時期の大幅な変更がなされ、留学生だけでなく会員の不安も今まで以上に大きくなっています。このような背景から去る5月6日に行われた第6回通常総会において就活情報支援委員会の発足が承認され、活動をスタートしました。

この委員会は主にチューターとして活躍されている会員を対象として活動します。従って、留学生に直接というよりも、主に会員を通して、留学生の就活をサポートする活動を行います。具体的には会員への就活情報の提供、会員からの相談応答と意見交換、及び必要に応じて外部の就活支援団体と協力した就活支援も進めたいと考えています。

就職をまだ意識していない時期（例；B2、M1）から、就活途上（例；B3、M2）、内定段階、入社日までの全ての時期に対応できるような“語り合いの情報”を提供してゆきます。会員からの相談にはいつでも対応できるように活動する予定です※。

※相談窓口：RKK 就活情報支援委員会 shukatsu@rkk.fanweb.jp

新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

入会正会員：山本友紀枝（鶴見区）

賛助会員のみなさまへ：ご支援ありがとうございます。

賛助会員：周亜萍（敬称略）



そうだい 壮大な Love Story ～七夕祭り～

たなばたまつ

すてきであい
素敵な出会いとふれあいを求めて

文化・ファミリー交流グループと名称を新たに、本年度初めて取り組んだ行事は RKK とも長い関係を持つ



「湘南平塚七夕まつり」でした。梅雨のさなかの7月4日
(土) 留学生11名、日本人26名が、例年通り、平塚市民

活動センターに集まり、留学生は浴衣や法被、作業衣などに
着替えたあと、自己紹介と短冊に書いた自分の願い事を紹介
しました。今年は留学生の参加がやや少ない目でしたが、中国
をはじめ、ブラジル、ベトナム、モロッコ、バングラディシ
ュ、スロヴァキアとさまざまな国々にわたり、ややたどど
しい日本語も英語となると実に流暢で、国際色豊かでした。

七夕のいわれを共に学び、七夕の歌を歌った後、平塚八幡神社に向かいました。幸いにも雨は小降りになり、留
学生の皆様は、神社での伝統的な茅の輪くぐりも七夕飾り

で埋めつくされた商店街のそぞろ歩きも、実に日本の
伝統の浴衣と下駄がお似合いました。七夕飾りはその時の
話題や世相を取り入れた力作ばかりで見応えがありました。

市民活動センターに戻った後の感想では、地域の
学校や会社関係の方々などさまざまな方々が製作にかかわ
っている事に感動したということやこの行事を通し、

一期一会（一つの出会いを大切にしよう）に感謝したいと
いうことが留学生から話されました。地元の話では

この七夕祭りは3日間で終了し、その後すぐに解体され、また1年後に向けて企画と製作が始まるそうです。こ
れこそ壮大なロマンです。その熱意に感動と感謝の心でいっぱいになりました。（松井記）



NPOほうじん りゅうがくせい かた あ かい
NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先：〒245-0008 横浜市区区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール：rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & fax 045-813-8327

ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/rkk/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集：RKK 広報委員会 夏号担当 西岡誉富 July 30, 2015